

1 単元名 球技(ゴール型・バスケットボール)		
2 単元の目標(指導のねらい)		
(1) 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻撃を展開することができるようにする。〔技能〕 (2) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開しながら自主的に取り組むことができるようにする。〔態度〕 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。〔知識、思考・判断〕		
3 評価規準		
【運動への関心・意欲・態度】 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開しながら学習に自主的に取り組もうとしている。 【運動についての思考・判断】 ・これまで学習した内容を、自己の課題に応じて、学習場面に適用したり、応用したりしている。 【運動の技能】 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前の侵入などから攻撃を展開することができる。 【運動についての知識・理解】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。運動観察の方法について、学習した具体例を挙げている。		
4 単元(第3学年 球技(ゴール型・バスケットボール))		
第1学年及び第2学年の「基本的なボール操作や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする」ことをねらいとした学習を受けて、第3学年では、「作戦に応じたボール操作で仲間と連携してゲームが展開できるようにする」ことを学習のねらいとしている。 したがって、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の学習に主体的に取り組む、フェアなプレイを大切にすること、自己の責任を果たすことや、話合いに貢献することなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、運動観察の方法などを理解し、対戦相手を踏まえて、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することが大切であると考えられる。		
5 主な学習活動		
(単元の指導計画)(全20時間)		
	学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点
第1次 5時間	ボール操作、ボールキープの動きを身に付けて簡単なゲームを楽しめるようにする。バスケットボールのルールやマナーを守り、チームでの役割を理解する。	・話合いにおける適切な関わり方を見付ける。 ・適切な話合いで技術的な課題などの関わり方を学ぶ。 ・話合いに積極的に参加し、学習を援助し合う。 ・課題学習のための学習方法を理解する。 ・分担した役割を果たす意義を理解する。 ・自己のチームや相手チームにあった作戦や戦術を話し合う。 ・勝敗にかかわらず良いプレーに賞賛を送るなど相手を互いに尊重しながら試合を進める。
第2次 <b>(本時)</b> 12時間	空間に走り込んだり、空間をつくり出したる動きをできるようにする。チームで作戦を考えて改善の方法を話し合う。	
第3次 3時間	定位置などの守備の動きを理解して、互いに尊重しながらゲームを運営する。	
(本時の学習)		
(1) 目標		
「ゴール前の空いている場所をカバーする」ためのチームの作戦に適した動き方を見付けることができる。		
(2) 本時の展開		
・グループごとに準備運動とスキルアップメニューを行う。 ・ゴール前の空いている空間をカバーする事を目指した練習を行う ・兄弟チームにチームの動きを分析してもらい、その結果を基にチームで話し合い、作戦を立てる。 ・ドリブルなしのゲームで、本時のねらいが実現できるか確認する。		

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

本事例は、中学校学習指導要領・保健体育・体育分野第3学年内容E 球技の事例である。

教科の目標にある「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる」という目標を達成するには、集团的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、改善の方法などを互いに話し合う活動などを通じて論理的思考力を育む必要がある。そのためにも、互いに話し合ったり、互いの活動に関わったりしながら学習を進めるといった言語活動の充実が不可欠である。



【言語活動の充実の工夫】

内容(2)態度の学習内容を充実するアプローチ

「作戦などについての話し合いに貢献しようとする」とについては、話し合いの手順を学習し、意見交換をすることで考えの共有をしながら一体感のある学習を目指した。「自己の責任を果たそうとすること」については、役割分担の内容を明確にして円滑な学習活動やチーム活動、ゲームの運営となるようにした。それによって、互いの役割を果たすために必要な話し合いや授業規律の向上などの面に生かされた。円滑に活動を進めることが活動時間の確保につながるということを経験によって理解した生徒は、互いに声を掛け合うことで自主的な学習活動を進められるようになった。

内容(3)思考・判断の学習内容を充実するアプローチ

解説の例示に示された「合意を形成するための適切なかかわり方」については、話し合いの基本的な進め方と動き方などの知識の学習を基にして話し合いを進められるようにした。ある特定の生徒による一方的な話し合いとなったり、話し合いが停滞したりしているチームについては、話し合いの進め方の確認や話し合う内容の焦点化を行ったり、チームごとに直接関わることで改善するようにした。



「健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選ぶこと」については、活動前後や活動中の環境に気を配ることの必要性を学習し、自分たちの力を伸ばしつつも無理のない練習内容となるよう、運動中や話し合い活動に関わり合うことを目指した。

「自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶこと」については、自分たちや相手チームの良さ、これまでの学習内容を確認した上で、作戦や戦術を話し合うようにした。互いの良さを認め合うことで自己肯定感を高めることにもつながり、作戦や戦術へと反映しやすくなるとともに話し合いの雰囲気も良くなった。それらの経験等が今後のさらなる自主的な取組へと発展し、「自己に適したかかわり方を見付けること」へと結び付けられることを目指した。

要点を分かりやすくした学習資料の充実と活用

バスケットボール学習シート活用資料①

バスケットボールの授業で使用する用語などについてはできる限り簡単な表現を用いることで、活動や話し合いにおいて活用しやすくなることを目指した。学習の振り返りカードの内容については、話し合いやチームミーティングを滞らせないように内容を最小限必要なものとなるようにし、ミーティングの際の言語活動に重きをおいた。また、チームプレイ観察シートによって視点を明確にし試合観戦中には観戦者同士の話し合いでプレイの賞賛をしたり、試合終了後のチームミーティングに生かしたりすることができた。特にナイスプレイを声や表情、拍手などで賞賛することは授業全体の雰囲気を良くすることにもつながり、授業の振り返りコメントにも「充実した活動となった」という書き込みを行っている生徒も多く見られた。

### チームプレイ観察シート

【目的】 ねらいの動きがゲームの中に出ていたかを兄弟&姉妹チームで観察し合い、ミーティングに生かす。

【使い方】 ①今日のねらいの動きに注目して、その動きがあったかどうかを探す。  
②実際の内容を簡単に書き出す。  
③チームの作戦会議やまとめの時間で話し合いの材料とする。

時数・今日のねらい	発生回数	その動きをした人・全体的な感想等
12/20	Aよくできていた	
今日のねらい	Bまずまずできていた	
ボールを持たない人への 守備の位置取りを確認 しよう。	Cできていた Dできていなかった	

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類： ， ， ， （分類番号はP5表参照）

